TANITA

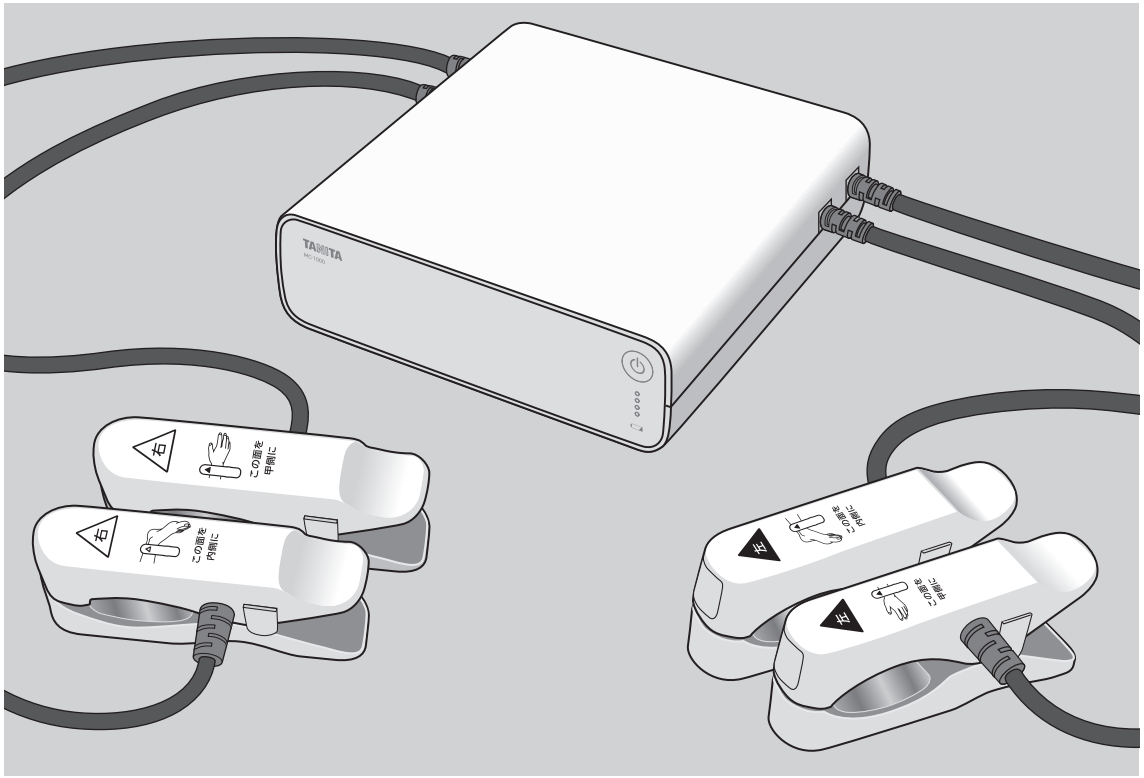
Instruction Manual

取扱説明書

Professional Body Composition Analyzer

プロフェッショナル体組成計

MC-1000



本書に記載されているイラストはイメージです。

お願い

誤った使いかたをしますと、重大な事故につながるおそれがあります。本書をよくお読みいただき、正しく使用してください。また、本書は必要なときにすぐに取り出せるよう、身近に大切に保管してください。

使用条件

温度範囲　：5～40°C
相対湿度範囲：30～80% RH（結露なきこと）
気圧範囲　：86～106 kPa

保管および輸送条件

温度範囲　：-10～60°C
相対湿度範囲：10～95% RH（結露なきこと）
気圧範囲　：70～106 kPa

上記の環境範囲外での使用・保管・輸送、および以下のような場所での使用・保管は行わないでください（故障の原因になります）。

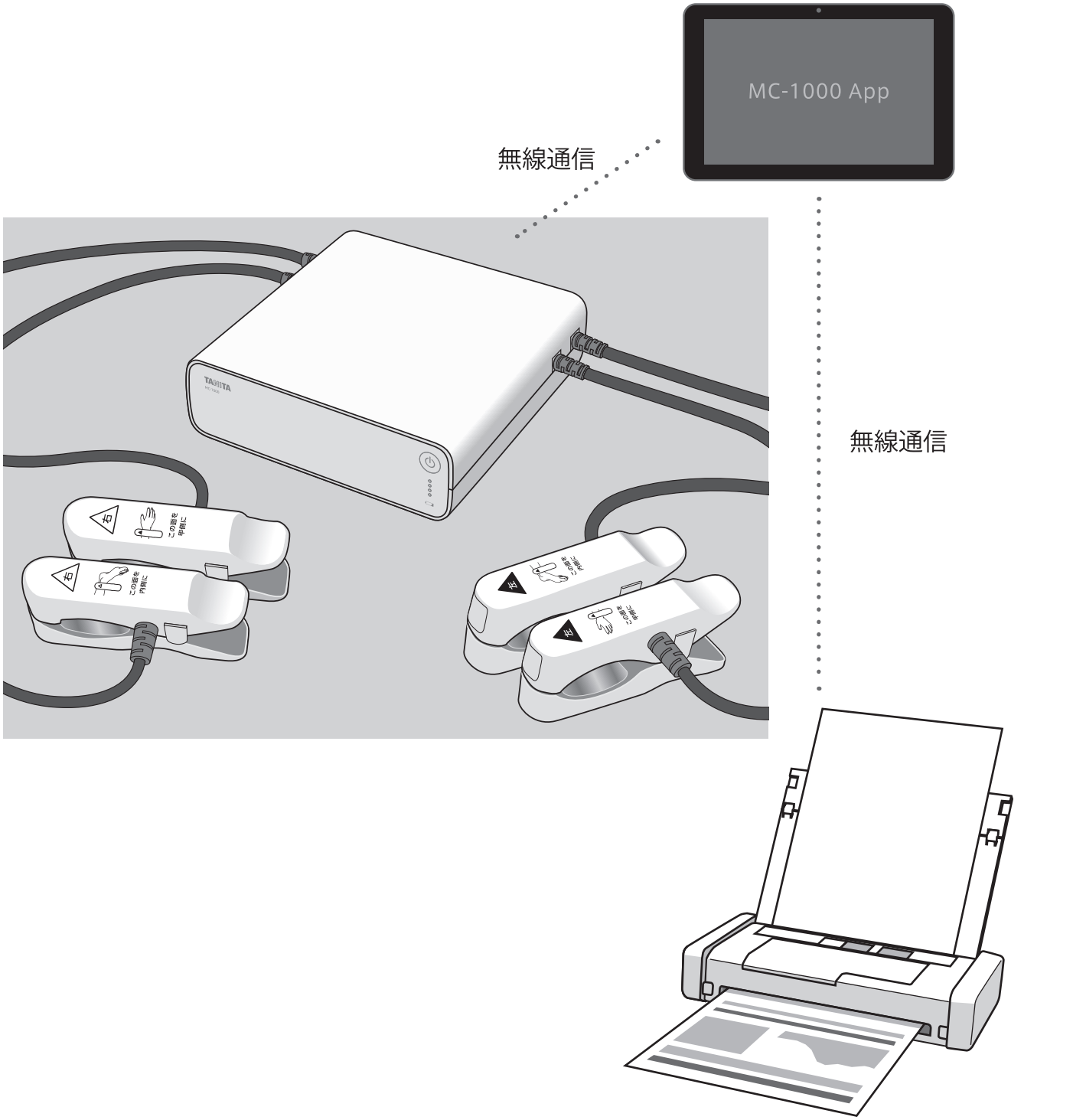
- 直射日光のあたるところ
- 温度変化の激しいところ
- 湿気の多いところ
- 冷房が入っていない真夏の車内
- ほこりが多いところ
- 振動の激しいところ
- 火気の近く

プロフェッショナル体組成計 MC-1000

MC-1000（以下、本機）は「高齢者に優しく、スタッフにゆとりを」を追求した多周波数部位別体組成計です。プロ仕様の高精度測定でありながら、わずか約5秒※1で完了。座って靴を履いたまま、あるいは寝た姿勢で測定でき、測定対象者（以下、対象者）に負担をかけません。充電式で持ち運びやすく、タブレットで直感的に操作できるため、場所を選ばずに日々の健康管理や状態確認をスムーズに行えます※2。

※1 電極の装着状態確認機能（P.17）がオンの場合は、トータル約10秒です。

※2 本機は日々の健康管理や身体状態の傾向把握を目的とした機器であり、疾病の診断・治療・予防を行う医療機器ではありません。



市販の「A4モバイルプリンター（充電式）」を組み合わせると、ベッドサイドや訪問先など、電源のない場所でもその場で結果をお渡しできます（P.17）。

※タブレットとプリンターは別売りです。

もくじ

安全上の注意 …… 3

各部の名称／付属品 …… 5

- 電源ボタンの光りかたと色の意味
- 本機に記載されている図記号と意味 など

本機のセットアップ …… 6

- 準備する
- 別途用意していただくもの
- 充電する
- 電池残量の見かた など

アプリのセットアップ …… 7

- タブレットを準備する
- アプリの初期設定と本機とのペアリング など

基本的な使いかた …… 9

- 測定の流れ
- 画面に表示されるメッセージとアイコン
- 測定する など

正しいはかりかた …… 13

- 測定条件
- クリップ電極の装着方法
- 測定姿勢 など

定期的な確認とお手入れ方法 …… 16

便利な使いかた（設定・データ） …… 16

- 測定結果を印刷する
- 万が一のデータの消失に備える など

困ったときは …… 18

仕様 …… 18

安全上の注意

本書では、使用する人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただきたいことを次のように説明しています。本文をよくお読みいただき、本機を正しく使用してください。

⚠ 警告
この表示の欄は「死亡または重傷を負うおそれのある」内容です。

⚠ 注意
この表示の欄は「傷害を負うおそれまたは物的損害が発生するおそれのある」内容です。

⃠ 禁止
してはいけない「禁止」内容です。

❗ 必ず守る
「必ず守っていただく強制」内容です。

※1 重症とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
※3 物的損害とは、家屋・家財などへの拡大損害をさします。

⚠ 警告

⃠ 禁止

ペースメーカーおよび能動型植込み型医療機器をお使いの方には使用しない
本機は微弱な電流を体内に流しますので、医療機器が誤動作し、重大な事故が発生するおそれがあります。



ぬれた手でプラグを抜き差ししない
感電や火災、漏電のおそれがあります。



分解や改造は絶対にしない
感電やけがのおそれがあります。
また、精度の保証ができません。



タコ足配線をしない
他の電気機器のノイズ等の影響により、正確に測定できない、または火災のおそれがあります。



本機に破損、変形、異音などの異常がある場合は使用しない
異常があるまま使用すると、正確に測定できない、またはけがや事故のおそれがあります。

本機に直接触れる部位に傷や炎症がある方には使用しない
感染のおそれがあります。

ACアダプターを抜いた直後に電源の端子に触れない
感電するおそれがあります。

⚠ 注意

⃠ 禁止

本機をぬらさない

金属アレルギーのある方には使用しない
本機は電極にニッケルクロムメッキを使用しているため、アレルギー反応が出るおそれがあります。

過度の衝撃を与えない
本機が破損して、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

⃠ 禁止

機器の併用はしない
本機で測定中に他の機器で測定しないでください（例：体組成の測定中に、血圧を測定するなど）。正確に測定できない、またはけがや事故のおそれがあります。

他の医用電気機器から30 cm以内に本機を設置したり、使用したりしない

クリップ電極を無理に開かない

クリップ電極を長時間装着し続けない
クリップ電極を装着した状態で対象者を長時間放置すると、赤みが生じるおそれがあります。測定直前に装着してください。

対象者自身で操作・測定しない
本機は、対象者（施設等の利用者）自身で電極を装着・操作しないでください。正しい姿勢や電極位置が維持できず、正確に測定できません。必ずスタッフやトレーナーなどが操作してください。

測定結果に基づき、対象者が自己判断で過度な減量や運動を行わないよう、必ず資格を持った専門家（医師や管理栄養士など）の指示のもとで指導する
対象者の自己判断による減量や運動は健康を害するおそれがあります。

測定中は対象者には直接触れない
皮膚同士が接触すると、正確に測定できないおそれがあります。

❗ 必ず守る

電波障害を受けやすい電子機器などは本機からの電波障害がないことを確認して使用する
本機はクラスB情報技術装置（主に家庭環境で使用することを意図した装置）の基準に準拠していますが、電波障害を受けやすい機器の場合は影響を受けるおそれがあります。

USB Type-Cケーブルを抜く場合は、断線しないようコネクターを持つ

付属のACアダプターを使用する

測定前にクリップ電極とその周辺を消毒用アルコール（グリセリンを含まないもの）で拭く
素肌にクリップ電極を装着して測定するため、感染のおそれがあります。

使用前後にクリップ電極が汚れていないか確認する
クリップ電極が汚れている場合は拭き取ってください。

測定中は対象者および本機に異常がないか常に確認する
異常が確認された場合、対象者の安全を確保し、本機の使用を中止するなど適切に対応してください（P.4）。

ACアダプターのみで使用する場合、通信中にACアダプターが抜けないように注意する
通信中に電源が落ちて、測定データが損失するおそれがあります。

本機を移動する場合は以下に注意する
- USB Type-Cケーブルを本機から抜いてください。
- 輸送など長時間移動する場合はコネクターの破損を防ぐためにワイヤレスアダプターを本機から抜いてください。
- 電極ケーブルを強く引っ張ったり、折り曲げたり、本機に巻き付けたりしないでください。断線のおそれがあります。

アプリについて

⚠ 注意

❗ 必ず守る

測定や通信の安定性を確保するため、本アプリの使用中は他のアプリケーションの動作を控える

ログイン用のPINコードは定期的に変更する

本アプリには対象者の大切な個人情報および測定データが保存されています。なりすましや不正アクセスを防止し、情報の機密性を維持するため、PINコードは定期的に変更してください。

専用電池について

⚠ 警告

⃠ 禁止

水や火にさらしたり、過度に高温の場所で使用・保管しない

火災ややけどのおそれがあります。

過度な衝撃を与えない

分解や改造、接続端子のショートは絶対にしない

感電やけがのおそれがあります。

専用電池以外を使用しない

⚠ 注意

❗ 必ず守る

アプリのホーム画面下部に「体組成計の電池が劣化しているため交換してください」というエラーメッセージが表示された場合は、新しい専用電池に交換する

本機は安全のため、電池容量が一定値を下回ると、エラーメッセージが表示されます。使用を続けると発熱・発火のリスクが高まりますので、すみやかに新しい専用電池に交換してください。

専用電池が液もれして液が目に入ったときは、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗う

目に損傷を与えるおそれがあります。医師に相談してください。

電池差し込み口の端子は触らない

感電やけがのおそれがあります。

本機の廃棄について

本機を廃棄処分される際は、各自治体の指示にしたがって処分してください。

専用電池の廃棄について

専用電池の廃棄方法はサポートページを確認してください。
https://www.tanita.co.jp/p/support_lib/

緊急時の対応

⚠ 警告

⃠ 禁止

電源の切り離しを妨げる場所に本機を設置しない

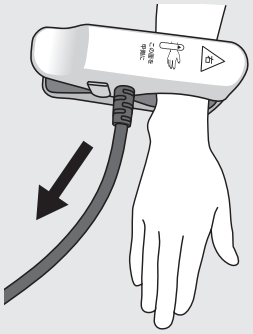
※異常時に電源からすみやかに切り離せるよう、本機のUSB Type-Cポート周辺、およびACアダプターを接続するコンセント周辺には物を置かないでください。

専用電池は発熱しているおそれがあるため、触れない

誤ってペースメーカー装着者に測定を開始してしまった場合は、次の手順で対応してください。

【手順】

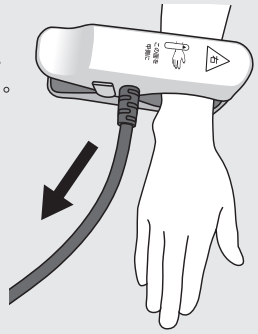
ケーブルを引っ張り、すみやかにクリップ電極を対象者からはずす。



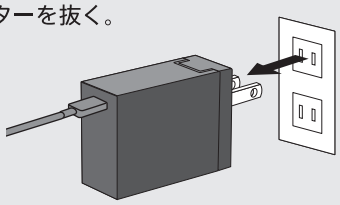
発熱・発煙・発火・異音などの際は、次の手順で対応してください。

【手順】

①ケーブルを引っ張り、すみやかにクリップ電極を対象者からはずす。

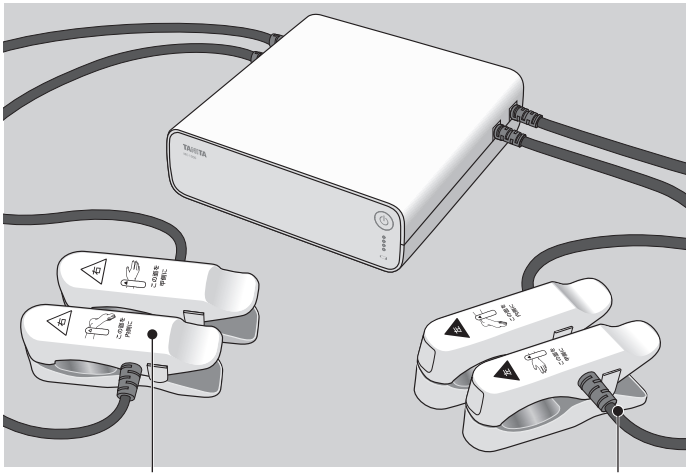


②コンセントからACアダプターを抜く。



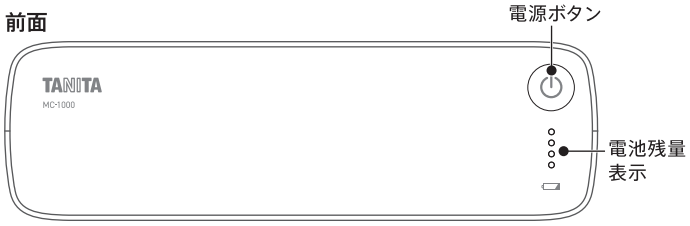
各部の名称／付属品

各部の名称

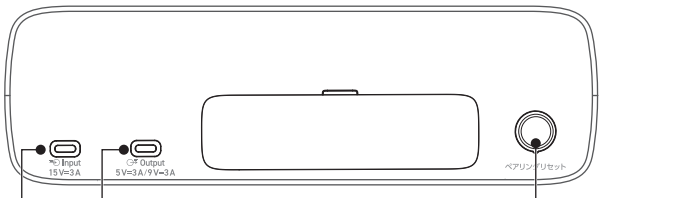


クリップ電極×4　　電極ケーブル×4

前面



背面



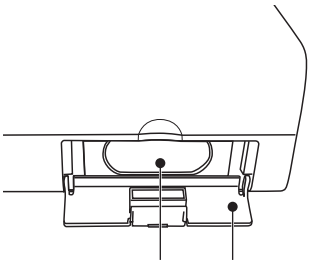
USB Type-Cポート
(Output:5 V DC, 3 A/9 V DC, 3 A)
※タブレット充電用

ペアリングリセットボタン

USB Type-Cポート
(Input:15 V DC, 3 A)

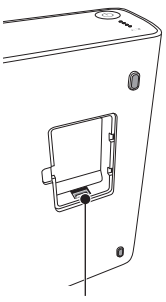
・Input端子には、付属のACアダプター(品番:OP-054)以外のものを接続しない。
・Output端子には、弊社指定のタブレット(P.7)以外のものを接続しない。

側面



電池差し込み口　電池フタ

底面



USB Type-Aポート
(ワイヤレスアダプター)

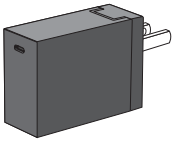
USB Type-Aポートには、付属のワイヤレスアダプター(品番:OP-103)以外のものを接続しない。

付属品

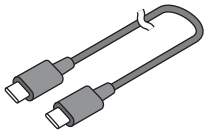
☑取扱説明書(本書)　☐保証書

☐ ACアダプターセット(品番:OP-054)

・ACアダプター



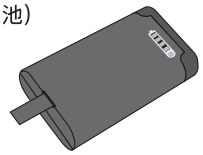
・USB Type-Cケーブル
(ACアダプターと本機接続用、3.0 m)



☐ ワイヤレスアダプター(品番:OP-103)



☐ 専用リチウムイオン二次電池(専用電池)
(品番:OP-610)



※新しい専用電池をお求めの場合は、本機を購入いただいた販売店にお問い合わせいただくか、タニタオンラインショップで購入してください。
※不足しているものがありましたら、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください(裏表紙)。

電源ボタンの光りかたと色の意味

白色に点灯	起動中
青色に点滅	新規ペアリング先を検索中
青色にゆっくり点滅	ペアリング済みの体組成計を検索中
青色に点灯	接続完了後3秒間
緑色に点灯	測定準備完了、測定中
ピンク色に点滅	本機のエラー発生時

※ピンク色に点滅している際の対応については、「困ったときは」を確認してください(P.18)。

本機に記載されている図記号と意味

	入力、出力
	定格入力電源(直流)
	定格出力電源(直流)
	ペースメーカーおよび能動型植込み型医療機器を装着した方の使用禁止
	分解禁止
	取扱説明書参照
	電池残量表示
	電池差し込み口

本機のセットアップ

準備する

1.個装箱を開梱し、本機および内箱を取り出します。
2.内箱を開けて付属品を取り出し、本機とすべての付属品を包んでいるビニール袋をはずします。
※付属品(P.5)がすべて揃っていることを確認してください。

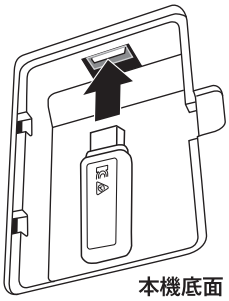
本機が損傷しないよう、電極ケーブルを引っ張ったり、落下させたりしない。

別途用意していただくもの

本機の他に以下が必要です。
●市販のタブレット(P.7)　●ウェットティッシュ
※ウェットティッシュは、クリップ電極の装着箇所(手首と足首)を拭くために使用します。十分に湿らせるために、アルコールを含まない厚手のものを使用してください。

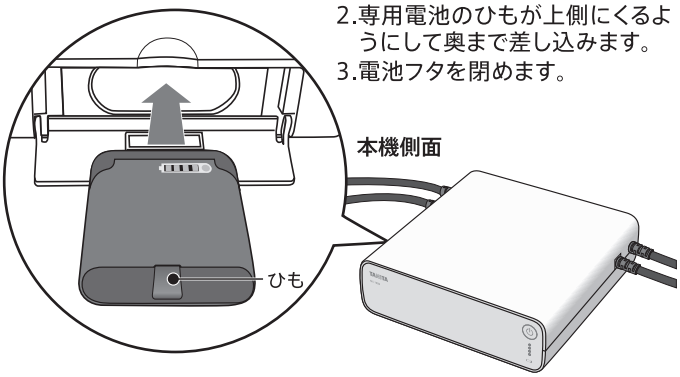
ワイヤレスアダプターを差し込む

1.本機底面のフタを取りはずします。
2.右の図と同じマークがある方を上向きにして、USB Type-Aポートにワイヤレスアダプターを差し込みます。
3.取りはずしたフタを戻します。


本機底面

専用電池を入れる

1.本機側面の電池フタを開けます。
2.専用電池のひもが上側にくるようにして奥まで差し込みます。
3.電池フタを閉めます。



必ず専用電池(OP-610)を使用する。

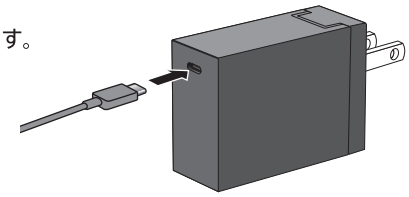
・測定中の電池切れを防ぐため、はじめて使用する際は必ずACアダプターを差し込んで使用する。
※出荷時、専用電池は十分に充電されていません。
・未使用時も1年に1回は充電する。

専用電池の取りはずしかた
電池フタを開けて、本機を少し持ち上げて取りはずしてください。

・専用電池を取りはずす場合は、感電のおそれがあるため、必ず本機の電源を切り、本機背面のUSB Type-Cポート(Input、Output)に接続されたケーブルを抜く。
・専用電池の消耗を防ぐため、長期間使用しない場合は専用電池を満充電のうえ、取りはずす。

ACアダプターを準備する

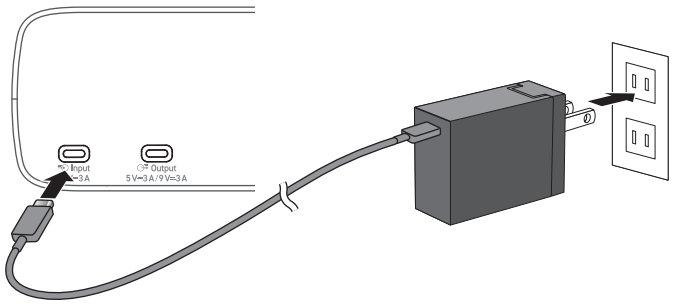
USB Type-C ケーブルを
ACアダプターに差し込みます。



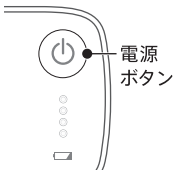
電源を入れる

1.ACアダプターに接続したUSB Type-Cケーブルを本機背面のInput端子に差し込みます。

本機背面

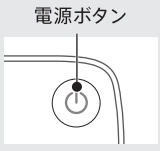


2.本機の電源ボタンを約2秒長押しすると電源が入り、電源ボタンが白色に点灯します。
起動後、青色点滅に切りかわります。



電池保護のため、低温環境では充電が完了しないことがあります。その際は、一度USB Type-Cケーブルを抜き、標準環境に慣らしてから再度充電してください。

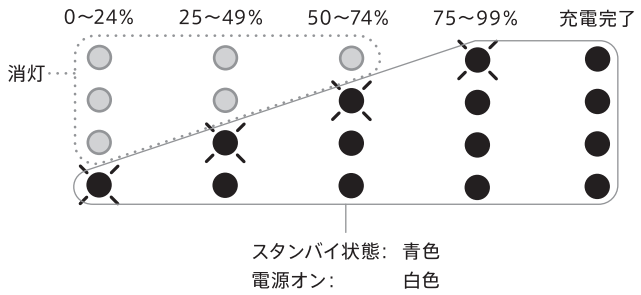
電源を切る(スタンバイ)
本機の電源ボタンを約2秒長押しすると電源が切れ、電源ボタンが消灯します。



本機のセットアップ (つづき)

充電する

ACアダプターを本機に接続している間は、充電されます。

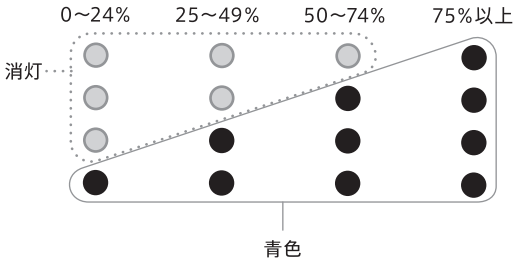


充電完了までに必要な時間は最大5時間です(使用条件により異なります)。

本機の電池残量が少なくなると、測定が中断されるおそれがあるため、アプリ画面に通知(残量25%未満および10%未満)が表示された際は、すみやかにACアダプターを接続して充電する。
※充電中も測定は可能です。

電池残量の見かた

充電せずに使用している際には、電池残量が4段階で表示されます。



ACアダプターのみで使用する場合は、電池残量表示が4つ白色に点灯します(電源オン時のみ)。

本機使用時の給電方法

本機は、使用環境に合わせて3つの給電方法から選んで使用できます。

	活用例
専用電池だけで使う	・本機をベッドの近くに移動して測定したい ・コンセントのない場所で使用したい ・コードレスで手軽に持ち運びたい
ACアダプターを接続して、充電しながら使う	・使用中の充電切れを防ぎたい
ACアダプターだけで使う	・専用電池の残量が少なく、すぐに測定したい ・電池劣化アラート(P.9)が表示された

※ACアダプターと専用電池の両方を使用している場合は、ACアダプターからの給電が優先されます。

アプリのセットアップ

タブレットを準備する

初期設定が完了したタブレットを用意します。

タブレットの対応機種や対応OSは弊社ウェブサイトに記載しています。タブレットの購入やOSアップデートの際には、必ず確認してください。
https://www.tanita.co.jp/product/business/bodycompositionanalyzer/24486/

※タブレットなど、接続する外部デバイスによる本機の不具合や故障は保証の対象外です。

アプリのインストール

1. インターネットに接続し、Googleアカウントを取得します。
2. Google Playストアより、専用アプリ「MC-1000 App」をインストールします。

本アプリは、日常の測定業務においてはオフライン(インターネット未接続)でお使いいただけます。ただし、アプリの機能を最新の状態に保つため、定期的にインターネットに接続してアップデートすることを推奨します。

※アプリ画面は予告なく変更することがあります。

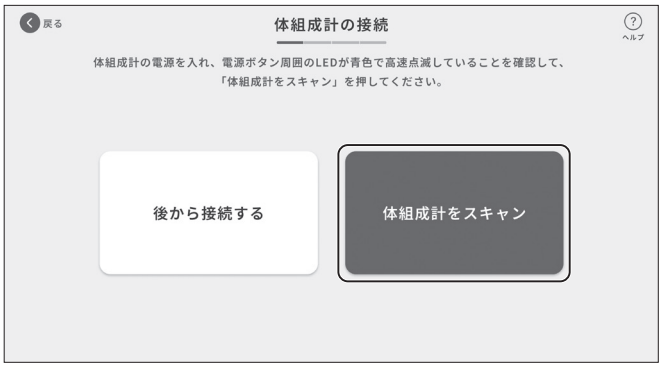
アプリのセットアップ (つづき)

アプリの初期設定と本機とのペアリング

1. アプリのアイコンをタップし、アプリを起動します。

2. 表示される利用規約をお読みになり、「同意して初期設定を開始」をタップします。

3. 本機の電源が入っていることを確認し（電源ボタンが青色点滅）、「体組成計をスキャン」をタップします。
   あとから接続する場合は「後から接続する」をタップすると、データグループの設定画面に切りかわります。
   ※これにより、ペアリング（初回登録）が完了し、次回以降は自動的に接続されます。
   ※「後から接続する」をタップした場合、初期設定完了時にホーム画面または設定より体組成計と接続してください。



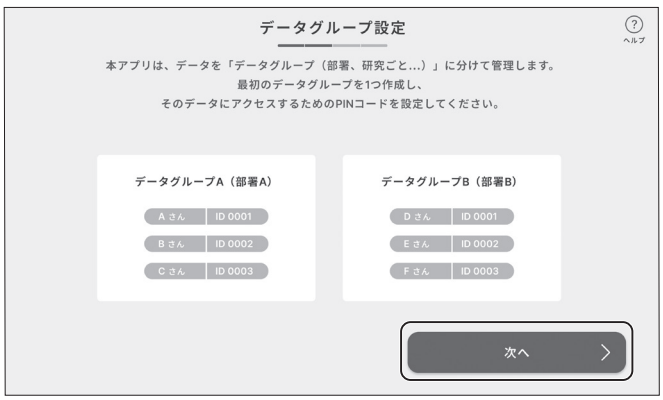
「付近のデバイスの検出、接続、相対接続位置の特定をMC-1000 Appに許可しますか？」と表示されたら、「許可」をタップします。

「このデバイスの位置情報へのアクセスをMC-1000 Appに許可しますか？」と表示されたら、「アプリの使用時のみ」をタップします。

「TNPPPAIRをペアに設定しますか？」と表示されたら、「ペア設定する」をタップします。

接続完了後、本機の電源ボタンが3秒間青色に点灯し、その後緑色点灯に切りかわります。

4. データグループを作成します。「次へ」をタップします。
   ※本アプリはデータをデータグループ（部署、研究ごと…）に分けて管理します。データグループは、複数作成することも可能です（P.17）。



データグループ名を入力します。
※データグループ名には、施設名や部署名などを入力してください。



ログイン用のPINコード（6桁）を入力します。入力後、確認のため、再度同じPINコードを入力します。
※PINコードは忘れないように注意してください。



5. 測定する主な姿勢を仰臥位（仰向けで横になった状態）、座位（座った状態）、立位（立った状態）から選択し「次へ」をタップします。

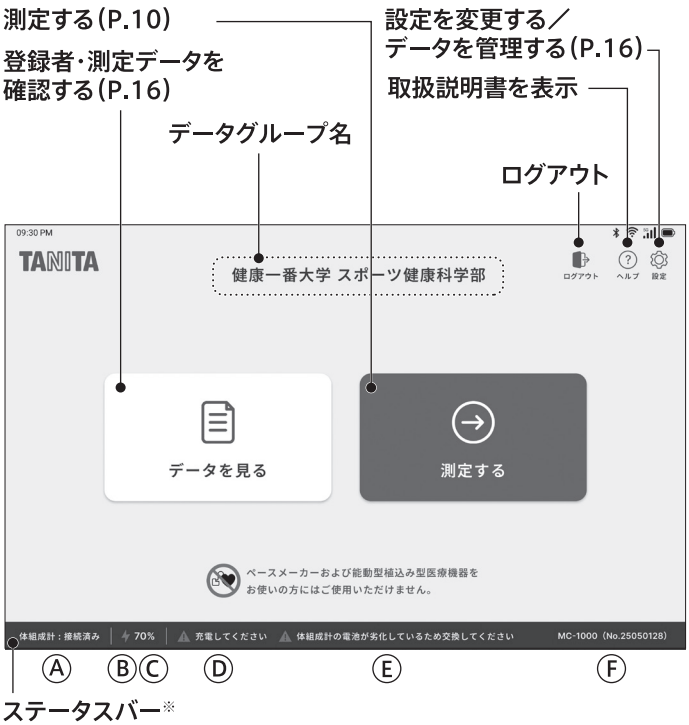


6. 以上でアプリのセットアップは完了しました。
「利用を開始する」をタップしてください。ホーム画面（P.9）に切りかわります。



基本的な使いかた

アプリのホーム画面



ステータスバーの表示内容

Ⓐ 体組成計の接続状態	「未接続」または「接続済み」と表示されます。
Ⓑ 充電状態	充電中は ϟ が表示されます。
Ⓒ 電池残量	本機の電池残量が表示されます。 また、専用電池を使用せずに、ACアダプターのみで動作しているときは、ーと表示されます。
Ⓓ 充電アラート	「⚠ 充電してください。」と表示されたら、電池残量が少なくなっています(25%未満)。すみやかに充電してください。
Ⓔ 電池劣化アラート	「⚠ 体組成計の電池が劣化しているため交換してください」と表示されたら、専用電池の最大容量が低下しています。使用を続けると、発熱・発火のリスクが高まりますので、すみやかに新しい専用電池に交換してください。
Ⓕ 体組成計の品番と製造番号	接続されている体組成計の品番と製造番号(数字8桁)が表示されます。

※ステータスバーの情報反映までは時間がかかる場合があります。

画面に表示されるメッセージとアイコン

操作中や測定中に確認が必要な状況が発生した場合、画面にアイコンとメッセージが表示されます。アイコンの種類によってメッセージの性質が異なります。

(エラー通知)

意味　接続に失敗した場合に表示されます。

対処方法　具体的な対処方法は、画面に表示されます。
必ず画面の指示にしたがって操作してください。

(注意)

意味　操作をそのまま続行すると、運用上の重大な悪影響(リスク)を招くおそれがある場合に表示されます。

対処方法　具体的な対処方法は、画面に表示されます。
必ず画面の指示にしたがって操作してください。

リスクの内容

①測定中・測定後のエラー時
体組成結果に誤差が生じ、正しい評価や正確な傾向の把握ができなくなるリスクがあります。

※やむを得ず続行したデータは参考値としてください。

②データやデータグループの削除操作時
データが完全に消失し、二度と元に戻せなくなるリスクがあります。

③測定中の中断(ホームへ戻る)時
最初から測定をやりなおすことになり、対象者に負荷がかかるリスクがあります。

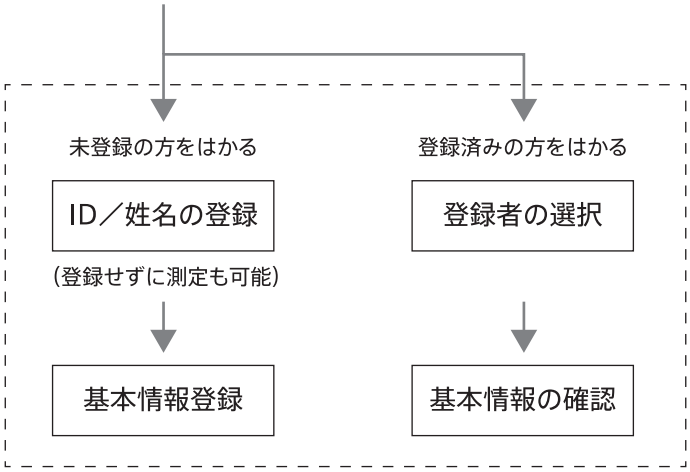
基本的な使いかた (つづき)

測定の流れ

以下の手順で測定します。

Step1　起動する／接続する …… P.10

Step2　測定する …… P.10～P.12



Step3　測定結果を確認する …… P.12

その他の操作

登録者・測定データを確認する …… P.16

設定を変更する／データを管理する …… P.16

※各種設定変更、データグループの追加／削除、データ削除／出力など

Step1　起動する／接続する

1. 本機の電源ボタンを押して電源を入れ、青色にゆっくりと点滅（1秒間隔）していることを確認します。
2. アプリを起動します。
3. ログイン用のPINコードを入力します。
   ※データグループ（P.8）が複数設定されている場合は、データグループ選択後にPINコードを入力します。
   ※PINコードを忘れた場合は、弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください（裏表紙）。
4. 本機（ペアリング済みの体組成計）に、自動的に接続します。
   ※画面中央の「読み込み中マーク」が消えるまで、そのまましばらくお待ちください。



5. 接続後、ホーム画面に遷移します。（本機の電源ボタンが緑色点灯に変わります。）

Step2　測定する

1. 体水分の分布を安定させて、正確に測定するために、対象者を測定する姿勢（仰臥位／座位／立位）で約10分安静にさせます。



正確に測定するために、測定条件（P.13）を確認し、できるだけ同じ時間帯・姿勢で測定する。

Step2　測定する(つづき)

1. ホーム画面の「測定する」をタップします。



未登録の方をはかる(新規登録)

2.「未登録の方をはかる」をタップします。



3. 登録する方はIDと姓名を入力し「次へ」をタップします。
※登録せずにはかる場合は「登録せずにはかる」をタップします
(測定データは保存されません)。



4. 基本情報を入力し「登録して次へ」をタップします。
※3.で「登録せずにはかる」を選択した場合は「次へ」をタップします。



登録済みの方をはかる

2.「登録者を選ぶ」をタップします。



3. 測定する登録者を選択します。



4. 登録されている基本情報を確認します。また、最新の体重を入力し「次へ」をタップします。



正確に測定するために、体重は測定のたびに正しい値を入力する。

アスリートの目安

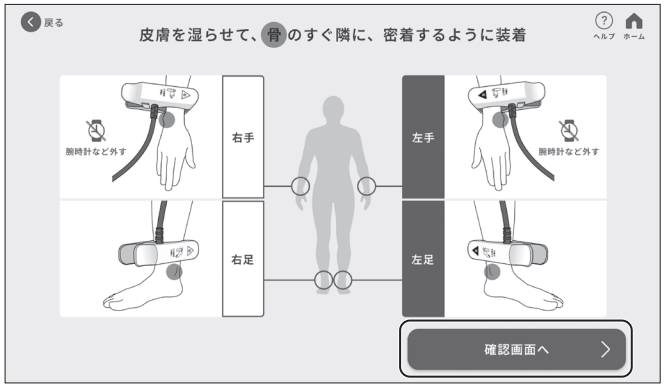
18歳以上で、次の条件に当てはまる方は「アスリート」を「はい」に選択することをおすすめします。「はい」を選択すると、アスリートモードで体組成を推定します。

- 1週間に12時間以上のトレーニングを行っている方。
- 体育会やスポーツ実業団に所属し、競技会などを目指している方。
- ボディビルダーのように筋肉量が多くなるようなトレーニングを行っている方。
- プロスポーツ選手。

Step2　測定する(つづき)

5. 手首と足首を市販のウェットティッシュ(厚手のもの)などで拭き、湿らせたあと、電極を装着し、「確認画面へ」をタップします。

> 正確に測定するために、正しい装着方法(P.13〜P.14)を必ず確認のうえ、装着する。



6. 対象者が正しい測定姿勢になっているか、確認します。

> 正確に測定するために、正しい測定姿勢(P.15)を必ず確認する。

7. 確認画面に表示されている測定姿勢および個人情報に誤りがないかを確認し、「測定開始」をタップします。
※誤りがある場合や、姿勢・測定モードを変更する場合は、「編集」をタップしてください。



8. クリップ電極が正しく装着されているか、装着箇所が乾燥していないかを確認します。
※本機能はスキップすることも可能です(P.16)。



9. 体組成を測定します。

10. 「測定完了」と表示されたら、クリップ電極を取りはずしてください。その後、自動的に結果が表示されます。

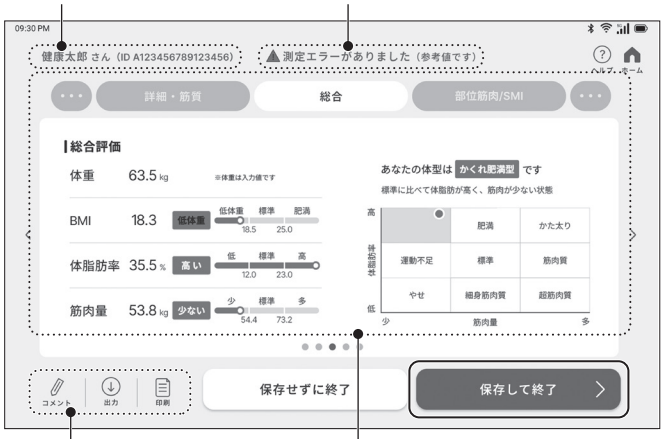
Step3　測定結果を確認する

1. 測定完了後、結果が表示されます。

表示される結果の内容は、成人(18歳以上)と小児(17歳以下)、初回の測定と2回目以降の測定で異なります。

対象者の基本情報や
測定方法を確認できます。

この表示がある場合は、過去データとの比較や、対象者の状態評価には使用せず、傾向を見るための参考情報としてください。



結果は、左右にフリックするか、
左右の矢印を押すことで切りかえられます。

コメント	指導内容などをコメントとして記録することができます。
出力	結果のPDFを保存などすることができます。
印刷	結果を印刷することができます。

2. 結果の確認を終了し、ホーム画面に戻る際には、「保存して終了」をタップします。

正しいはかりかた

測定値は体水分分布や測定姿勢に影響されます。以下を参考に、できるだけ同じ時間帯・姿勢で測定してください。

測定条件

測定環境

屋外では使用しない

振動の激しいところに設置しない

測定結果に誤差が生じる場合があります。

電磁波を発生する機器の近くでは使用しない

- 照明器具(インバーター蛍光灯)・医療用機器(マイクロ波治療器)・通信機器(携帯電話)などの一部の機器とは干渉して誤動作するおそれがあります。
- 電気毛布や電気カーペットを使用している場合は必ず電源をオフにし、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

温度変化の激しい場所では測定しない

測定値に誤差が生じるおそれがあります。20℃以上の温度差がある場所に移動するような場合は、本機を2時間以上放置してから使用してください。

測定時間

測定する姿勢を約10分保持したうえで、測定する

姿勢変化により体水分分布が変化し、測定値に誤差が生じるおそれがあります。



サウナや長湯、激しい運動をしたあとは測定を避ける

測定値に誤差が生じるおそれがあります。
十分に休んでから測定してください。



起床後は2時間以上経過してから測定する



食後は2時間以上経過してから測定する

対象者の状態

装着箇所(手首・足首)が乾燥していると正確に測定できません

測定前にクリップ電極を装着する箇所をウェットティッシュなどで湿らせてください。

装着する箇所(手首・足首)が冷えているときは、人肌程度に温めてください。

脱水症状または熱があるときは測定しない

測定前に排尿、排便を済ませる

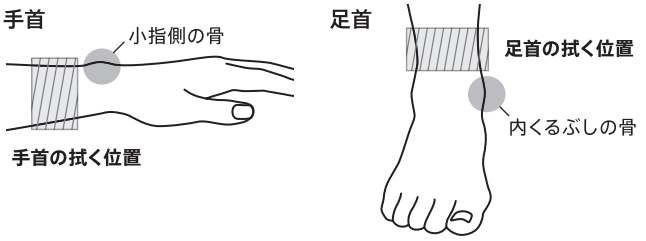
以下に当てはまる方は、参考値として変化の推移をみられることをおすすめします。

- 体内に金属を装着されている方
- 体水分の変化を誘発する薬(例:利尿剤など)を服用されている方
- 妊娠中や、人工透析をされている方、またはむくみ症状の方

クリップ電極の装着方法

装着部位を湿らせる

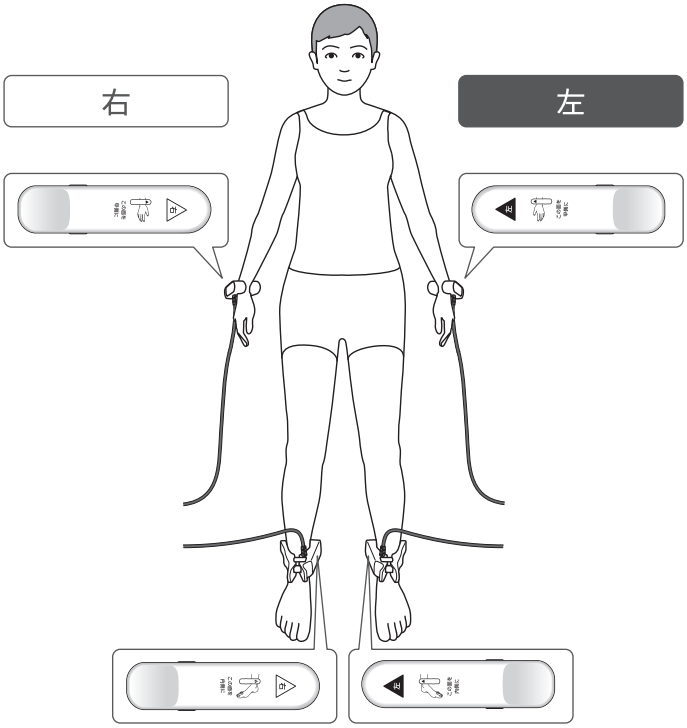
電極が触れる位置の皮膚を湿らせるため、イラストの斜線部を、市販のウェットティッシュ(厚手のもの)などで1周しっかりと拭きます。



皮膚が乾燥していると正しく測定できないため、必ず湿らせる。

クリップ電極を装着する

操作者から見た左右ではなく、対象者の左右に合わせ、両手首・両足首の計4箇所にクリップ電極を装着します。



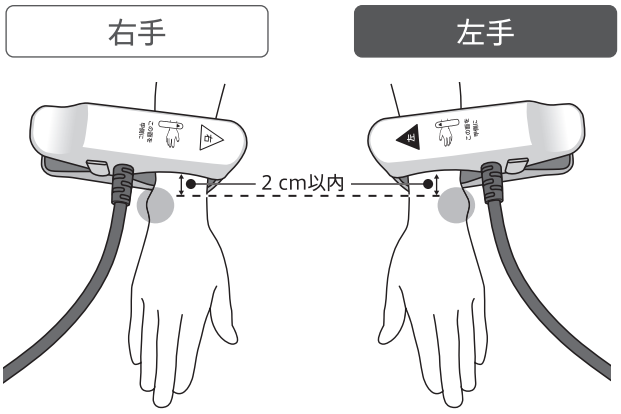
※装着可能な手首の厚み・足首の幅:約30～95 mm

両手首モードのときは両手首のみ、両足首モードのときは両足首のみに電極を装着します(P.17)。

クリップ電極を装着する(つづき)

手首

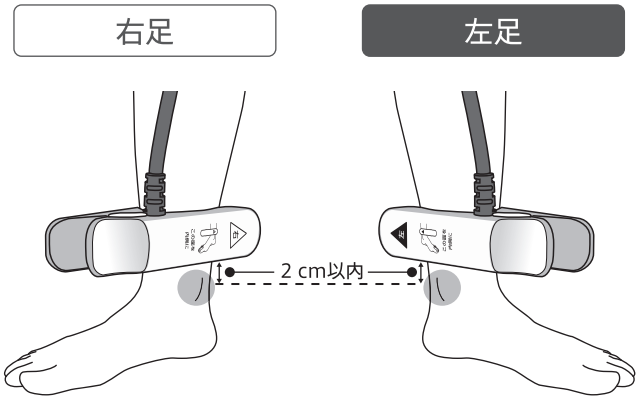
【事前準備】 対象者が手首に腕時計やアクセサリーを身に付けている場合は、取りはずす
【位置】 手首の小指側の骨(●)のすぐ隣(からだの中心側)
※骨の端から2 cm以内(親指1本分)が目安
【向き】 クリップのマークを甲側に、奥までしっかりと挟む
【接触】 電極が浮かないようにする



正確に測定するため、上記の内容を必ず守る。

足首

【事前準備】 対象者が靴下を履いている場合は、ずらして足首を出す
【位置】 内くるぶしの骨(●)のすぐ隣(からだの中心側)
※骨の端から2 cm以内(親指1本分)が目安
【向き】 クリップのマークを内側に、奥までしっかりと挟む
【接触】 電極が浮かないようにする

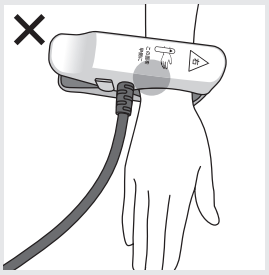


正確に測定するため、上記の内容を必ず守る。

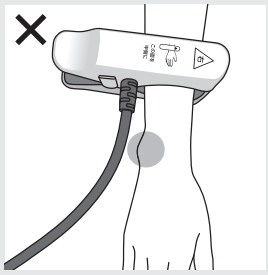
間違った装着方法

装着位置が正しくない

目印となる骨(●)の真上



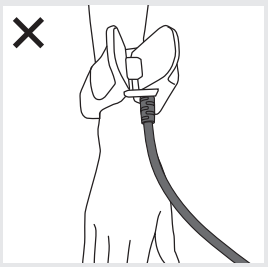
目印となる骨(●)から2 cm(親指1本分)以上離れている



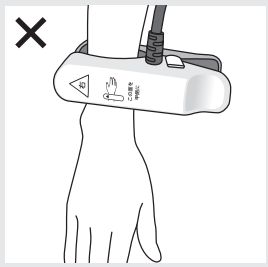
※イラストは右手の場合ですが、左手／右足／左足でも同様です。

装着方向が正しくない(手首)

小指側ではなく上(甲側)から



小指ではなく親指側から



※イラストは右手の場合ですが、左手でも同様です。

装着方向が正しくない(足首)

前ではなく横から



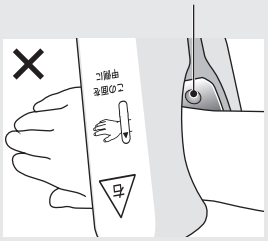
すね側ではなく後ろから



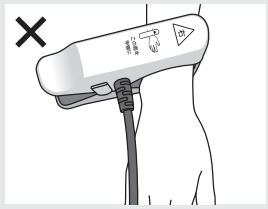
※イラストは右足の場合ですが、左足でも同様です。

密着していない(電極が浮いている)

電極部の突起が見えている



クリップ電極がまっすぐ装着されていない



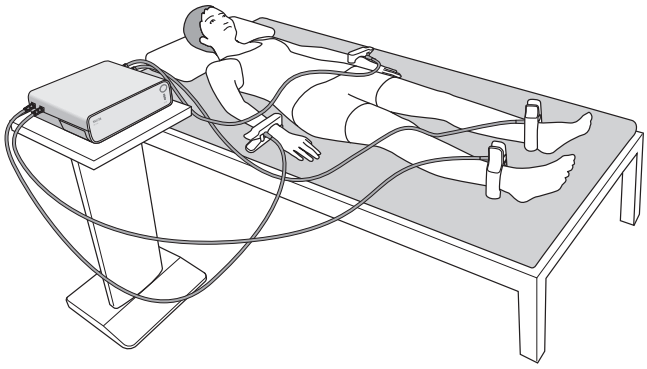
※手足の細い方の場合、立位や座位での測定時にケーブルの重みでクリップ電極がずれることがあります。骨(●)の位置より2 cm以上ずれる場合はクリップ電極がまっすぐになるよう、操作者が支えてください。

測定姿勢

正確に測定するため、以下の点をお守りください。
・測定中は正しい姿勢を保ち、動かない
・測定するインピーダンスを安定させるため、事前に測定する姿勢で約10分保持してから、測定を開始する
・電極ケーブルにねじれやケーブル同士の接触ができるだけないようにする

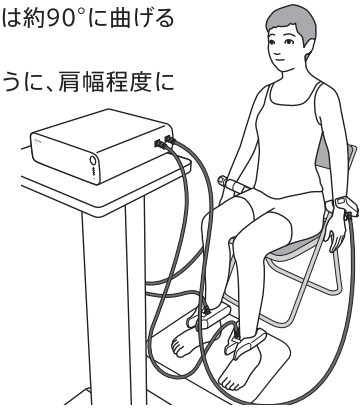
仰臥位で測定する場合

・肘や膝を曲げず、仰向けに寝る
・内ももや足が触れないように、脚を肩幅程度に広げる



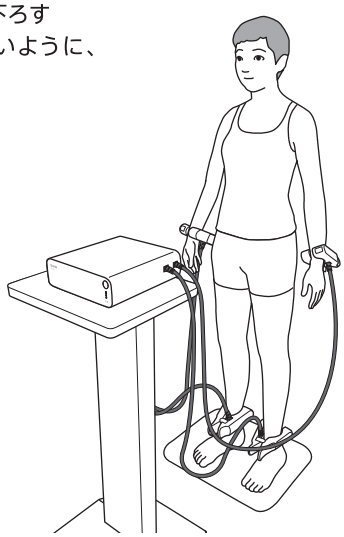
座位で測定する場合

・背筋を伸ばして椅子に座り、膝は約90°に曲げる
・腕を自然に下ろす
・内ももや足などが触れないように、肩幅程度に広げる



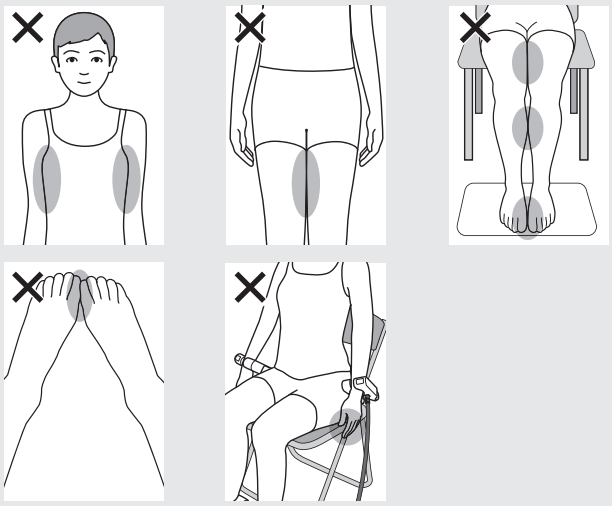
立位で測定する場合

・肘は曲げずに、腕を自然に下ろす
・内ももや足などが触れないように、肩幅程度に広げる



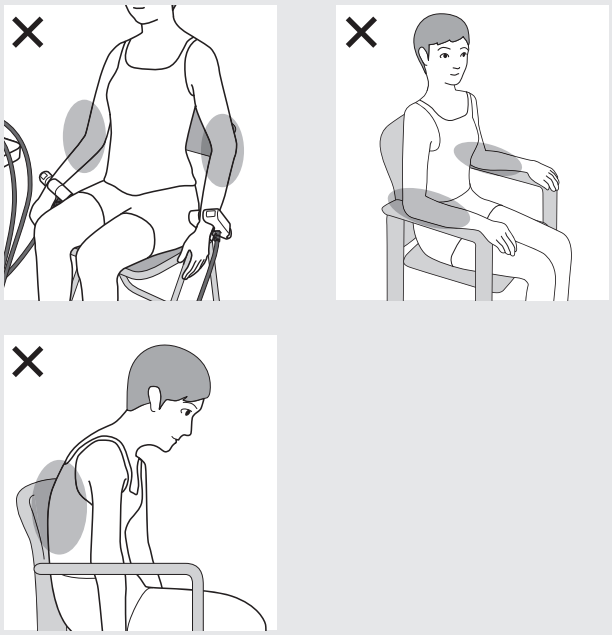
間違った測定姿勢

皮膚同士や金属のフレームに接触している

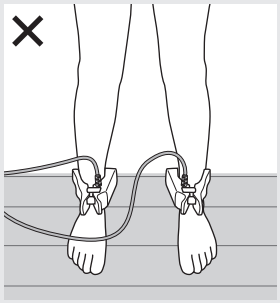


皮膚同士や金属のフレームに接触する場合は、タオルなどを挟む。

肘や背中が曲がっている



素足のまま床面の上で測定している



立位と座位で素足で測定する場合は、電気が流れないように床に絶縁性のマットを敷く。

定期的な確認とお手入れ方法

本機の確認

本機は精度を保つために、定期的に以下を確認してください。異常が確認された場合は使用を中止し、お客様自身で修理せずに弊社お客様サービス相談室にお問い合わせください。

使用前の確認

- 本機と付属品（ACアダプターなど）に損傷がないか確認してください。
- 安全に関するラベルが読めるか確認してください。
- 本機（特にクリップ電極）が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、中性洗剤で拭いてください。

⃠ 熱湯やベンジン、シンナーなどは使用しない。

毎週の確認（データのバックアップ）

タブレット（アプリ）に保存された大切なデータを万が一のトラブルから守るため、週に一度のバックアップを推奨しています。バックアップの方法については「便利な使いかた（P.17）」を確認してください。

毎月の確認

クリップ電極の挟む力が弱くなっていないか確認してください。

弊社による定期点検の推奨

長期間の使用により、外見ではわからないケーブル内部の劣化や、測定精度のズレが生じる可能性があります。
本機の測定精度と安全性を維持するため、一年に一度、弊社サービス担当による定期点検と校正を受けることを推奨します。
内部の点検・調整はお客様自身では行わず、必ずお買い上げの販売店または弊社お客様サービス相談室に依頼してください。

便利な使いかた（設定・データ）

登録者・測定データを確認する

ホーム画面の「データを見る」をタップすると、登録者リストと測定データを確認することができます。

「データを見る」でできること

登録者リスト	・登録者の基本情報の確認と変更 ・登録（1件ずつ／CSVから一括）
測定データ	・測定結果の確認 ・測定結果の印刷 （複数結果をまとめて印刷することも可能）

設定を変更する／データを管理する

ホーム画面右上の「⚙ 設定」をタップすると、設定の変更とデータの管理ができます。

「⚙設定」でできること

システム設定

測定	・測定方法のデフォルト設定の変更 （測定姿勢、測定モード） ・電極の装着状態確認オン／オフ切りかえ
結果表示・印刷	・プリンター設定 ・結果用紙／画面パターンの変更 ・結果用紙への共通出力内容の変更
体組成計	・接続済みの体組成計の情報を確認 ・別の体組成計に接続 ・本機のオートパワーオフ時間
セキュリティ	・アプリの自動ログアウト時間

データ管理

データグループ	・名称変更 ・PINコード変更 ・新規作成、削除
登録者一括取り込み	・登録者の一括登録（CSVから）
データ出力	・登録者リストの出力 ・測定データの出力
データ削除	・登録者の削除 ・測定データの削除
バックアップ	・バックアップファイルの作成と復元
アプリ	・アプリ情報（バージョン）の確認 ・利用規約／個人情報の取り扱い、ライセンスの確認

⚠ 注意

「登録者・測定データ・データグループ」を削除すると、データは完全に消去され、元に戻せません。対象をよく確認してください。

「バックアップの復元」で復元を実行すると現在のデータは上書きされ、元に戻せません。対象をよく確認してください。

測定姿勢・モードを固定する

測定時によく使用する「測定姿勢（仰臥位／座位／立位）」と「測定モード（全身／両手首／両足首）」は、あらかじめ固定することができます。

【手順】

「⚙ 設定＞測定」内の「測定方法のデフォルト設定」より変更してください。

両手首モード、両足首モードの活用例

四肢欠損されている方など、一部の電極を装着できない場合は、両手首の電極のみ／両足首の電極のみで体組成を測定することが可能です。「両手首モード」または「両足首モード」に変更してください。両手首モード、両足首モードで測定した場合の測定結果は参考値です。

測定エラーを未然に防ぐために（電極の装着状態確認のオン／オフ）

装着不良や電極装着部の水分不足を検知し、正確な測定をサポートする機能です。測定方法を十分に理解するまでは、オンにすることをおすすめします。

【手順】

「⚙ 設定＞測定」内の「体組成測定前の電極の装着状態確認」より変更してください。

測定結果を印刷する（プリンターとの接続）

測定結果はアプリから印刷することが可能です。

【手順】

1. プリンターの取扱説明書を確認してプリンターとタブレットを接続してください。
2. 「⚙ 設定＞結果表示・印刷」内の「結果用紙の印刷」より、プリンターを設定してください。

対応プリンターについて

Androidタブレットからの印刷に対応した、市販のA4カラープリンターをお使いいただけます。

※すべてのプリンターでの動作を保証するものではありません。

データを分けて運用する（データグループの追加）

登録された個人情報や測定データ、およびアプリ内の各種設定は、データグループごとに保存、管理されます。施設や研究プロジェクトごとなどに分けて運用したい場合には、新しいデータグループを作成してください。

※PINコードは、データグループごとに設定します。

【手順】

「⚙ 設定＞データグループ」内の「新規データグループの作成」より作成してください。

万が一のデータ消失に備える（バックアップ）

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください。
すべてのデータグループの設定とデータがバックアップされます。

【手順】

1. タブレットにUSBメモリーや市販のmicroSD※1, 2などを差し込みます。
2. 「⚙設定＞バックアップ＞復元」を開き、「バックアップの作成」をタップします。

復元する場合

1. バックアップしたSDカードやUSBメモリーを用意し、タブレットに差し込みます。
2. 「⚙設定＞バックアップと復元」を開き、「バックアップの復元」をタップしてください。

※1 microSDはSDアソシエーションの商標です。
※2 お使いのタブレットに対応したものを用意してください。

本機を用いたタブレットの充電

本機からもタブレットを充電できます。

【手順】

1. 本機のUSB Type -Cポート(Output) に、USB Type -Cケーブルを差し込みます。
2. 反対側をタブレットのUSB Type -Cポートに差し込みます。

備考

- 本機がACアダプターに接続されている場合：
  本機とタブレットをUSB Type -Cケーブルで接続すると充電が開始されます。(9 V DC, 3 A：最大27 W)。
- 本機がACアダプターに接続されていない場合(専用電池のみ)：
  ケーブルで接続後、本機の電源を入れると充電が開始されます。(5 V DC, 3 A：最大15 W)

困ったときは

電源を入れた直後に、電源ボタンがピンク色に点滅している場合

本機底面のUSB Type-Aポートにワイヤレスアダプターが正しく差し込まれているか確認してください（P.6）。

タブレットと接続できない場合（初回利用時）

本機とアプリを再起動させて、再度接続してください。

タブレットと接続できない場合（ペアリング済みの場合）

本機とアプリを再起動させて、再度接続してください。それでも解決しない場合は、次の手順で再ペアリングしてください。

1. 本機の電源を入れ、背面のペアリングリセットボタンを3秒以上長押しし、手を離します。電源ボタンが青色に点滅（0.35秒間隔）していることを確認します。
2. タブレット本体の設定アプリを開き、Bluetooth®に関する設定を表示します。保存済みデバイスに表示されているTNPPから始まるものを探し、削除します。
3. MC-1000 Appを開き、⚙設定＞体組成計内の「別の体組成計に変更する」をタップします。

その他のお困りごとについて

弊社ウェブサイトの「よくある質問」を確認してください。

https://tanita.zendesk.com/hc/ja/?_fsi=675LhvND

仕様

プロフェッショナル体組成計(MC-1000)

消費電力		45 W
定格入力(Input)		15 V DC, 3 A
定格出力(Output)		5 V DC, 3 A/9 V DC, 3 A
電源		ACアダプター（品番：OP-054）/ 専用リチウムイオン二次電池 （品番：OP-610）
充電時間（専用電池使用時）		最大5時間
連続使用可能時間 （専用電池使用時）		最大12時間
電極の材質		ABS（ニッケルクロムメッキ処理）
全身モード	測定方式	多周波数8電極BIA
	測定周波数	5 kHz/50 kHz/250 kHz
	測定電流	90 μA以下
	測定部位	全身、部位
両手首／ 両足首モード	測定方式	多周波数4電極BIA
	測定周波数	5 kHz/50 kHz/250 kHz
	測定電流	90 μA以下
	測定部位	全身
インターフェース		USB Type-A ポート （ワイヤレスアダプター）×1
		USB Type-C ポート （Input）×1
		USB Type-C ポート （Output）×1
使用条件	温度範囲	5～40℃
	相対湿度範囲	30～80% RH（結露なきこと）
	気圧範囲	86～106 kPa
保管・輸送条件	温度範囲	-10～60℃
	相対湿度範囲	10～95% RH（結露なきこと）
	気圧範囲	70～106 kPa
本体質量		約 2.7 kg（専用電池含む）
寸法	本体	約 幅260×高さ85×奥行260 mm （電極ケーブル含まず）
	電極ケーブル	長さ約1.6 m

ACアダプターセット(OP-054)

構成品	ACアダプター、USB Type-Cケーブル （ACアダプターと本機接続用）
定格入力	100 V～240 V AC (50 Hz/60 Hz)
定格出力	15 V DC, 3 A

専用リチウムイオン二次電池（OP-610）

定格電圧	10.8 V DC
定格容量	3350 mAh
定格電力量	36.2 Wh

ワイヤレスアダプター（OP-103）

インターフェイス	USB Type-A
無線機器	Bluetooth® 4.2
通信距離	約 5 m（見通しのよい空間）
電源	5 V DC（体組成計用）

※Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の商標であり、株式会社タニタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

※デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

販売元　株式会社 タニタ
本社・お客様サービス相談室　〒174-8630 東京都板橋区前野町1-14-2

製造元　株式会社 タニタ 秋田
タニタ サービスセンター 〒014-0113 秋田県大仙市堀見内字下田茂木添28-1

ホームページアドレス　https://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先
フリーダイヤル 0120-133821
携帯電話からはフリーダイヤルにつながりません。
携帯電話からのお問い合わせはナビダイヤルをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-783551
通話料はお客様負担となりますのでご了承ください。
受付時間 / 9:00～17:00（祝日を除く月～金）

© 2026 TANITA Corporation

MC10007601(0)-2610OF